



未来の空手家、次なる帯へ一直線！

市内の子どもたちが空手大会で入賞

6月28日、筑西市で「第6回茨城県空手道選手権大会」が開催され、千島景人さん（陽光台小）が「初級2ステージ小学2年男女混合クラス」で優勝、大熊実和さん（わかさ幼稚園）が「エクスペリエンス幼年男女混合クラス」で準優勝、大熊匠武さん（陽光台小）が「エクスペリエンス小学2年男女混合クラス」で第3位に輝きました。3人は「岩崎空手みどりの・みらい平支部」に所属しており、「入賞できて嬉しかったです！審査会（帯の昇級試験）が近いので、合格して次の色帯を貰えるように稽古します！」と今後の目標を話してくれました。



左から大熊実和さん、千島景人さん、大熊匠武さん



※バドミントンコートと同じ広さのコート内で、パドルというラケットでプラスチック製の穴空きボールを打ち合うスポーツ。

世界との差を乗り越え、次は入賞へ！

市内中学生がピッケルボール大会で健闘

7月下旬、タイでピッケルボール※のアジア大会「Asia Pickleball Junior Open 2026」が開催され、菊地太陽さん（伊奈中1年生）が、14歳以下の部と16歳以下の部（各シングルス・ダブルス）に出場しました。惜しくも上位入賞は逃しましたが、菊地さんは「国際大会に出場して、世界のレベルの高さを痛感しました。今後は国内大会で実績を積んで成長し、来年も同じ大会でベスト32入賞を目指して努力していきます！」と、大会の感想と今後の目標を話してくれました。

また帰って来たいと思える地域に

市内自治会がまちづくりのコンクールで入賞

7月10日、東京都で「第21回住まいのまちなみコンクール」（主催：（一財）住宅生産振興財団）の表彰式が開催され、富士見ヶ丘にある「つなぐ森みらい平自治会」が「住まいのまちなみ賞」を受賞しました。このコンクールは、住まいのまちなみの形成に必要な継続的な維持管理・運営やコミュニティの形成などに取り組む住民組織を、まちづくりのモデルとして表彰するものです。同会の小泉利明理事長・会長は「子どもたちに自分の故郷・地元への誇りや愛着を持ってもらい、家を離れた後もまた帰って来たいと思える地域でありたいと考えているので、今回の受賞は大変嬉しく思います。今後はつくばみらい市全体の地方創生を目指して、近隣の自治会の皆さんも巻き込みつつ、広く市民の方々に楽しんでいただけるまちづくりをしていきたいです」と話しました。



つなぐ森みらい平自治会 小泉理事長・会長（前列左から2番目）

つなぐ森みらい平とは

数百年の植樹による「サトヤマ」を中心に、約3,000㎡の雑木林と一体となった住宅地。67世帯が「サトヤマ」を介してつながっている。